

How to Paint

ハケ



1. 準備(毛払い)

① 塗装中に抜け毛がつかないよう、新しくハケをおろすときは使用する前によくもみほぐし、抜けかかった毛を取り除いておきます。さらにザラザラした板の表面にハケをなでつけるようにすると、抜け毛がきれいに取れます。この作業をせずに使った場合は、塗装面に抜け毛がついて、仕上がりがきれいになりません。



2. ハケの持ち方

② 柄の中心よりやや上を持つ。
③ あまり強く握らない。
④ ハケを楽に動かせるように、ひじや手首にあまり力を入れない。



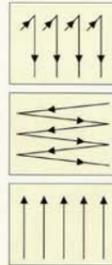
3. 塗料の含ませ方

⑤ 毛先から3分の2くらいまで塗料の中に入れる。
⑥ 毛先に塗料をムラなく含ませる。
⑦ 容器の内面に柄が触れないようにする。
⑧ 容器の端で軽くごき、タレないようにしてハケを持っていく。

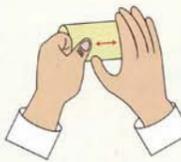


4. ハケの動かし方

⑨ 塗料をくぼる。(右図上)
⑩ 塗料を広げる。(右図中央)
⑪ ハケ目(刷毛目)を描いて仕上げる。(右図下)
⑫ 最後の仕上げは常に一定方向で統一する。ラッカーのように乾きの早い塗料は、タテやヨコにハケを動かさずに、一定方向だけにすばやく塗って仕上げる。

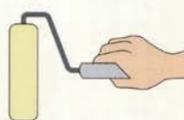


ローラー



1. 準備(毛払い)

① 接着剤にしっかりと固定されていない不要な毛を払います。毛払いを良くしないと、塗装面に毛が残る原因となります。ガムテープの粘着面で何回か転がして取る方法もあります。



2. ローラーの持ち方

② 親指を描いて持つ。
③ 塗る面よりローラーを浮かさない。
④ あまり力を入れて押し付けない。

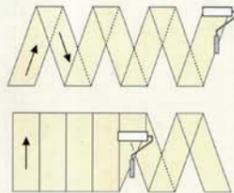


3. 塗料の含ませ方

⑤ ローラーをネットの上で転がし、気泡が出なくなるまで塗料を十分に馴染ませます。均一に含ませるのがポイントです。

4. ローラーの動かし方

⑥ 一度に全体を塗るのではなく、範囲(2m四方)を決めます。まず全体に塗料を配り、その後若干重ねながら、下から上に仕上げていきます。最後の仕上げは、常に一定方向で統一する。ローラーの回転が速いと、塗料が飛び散るのでゆっくりと大きく動かす。平滑な面は短毛のものを、凹凸のある面は中毛のものを、凹凸が大きい場合は長毛のものをを使う。



ちょっと便利な豆知識

Trivia 1

【衣服についたときは】

塗装のときは、よごれてもよい服装で作業しましょう。どんなに気をつけても、余分なところを汚したり、床にこぼしたり、衣服を汚したりするもの。こんなときは、塗料が乾かないうちに、すぐに落とすことが大切です。(水性塗料でも、乾くと取れにくくなります。) 水性塗料は水で、油性塗料はペイントうすめ液で、ラッカー系塗料はラッカーうすめ液です。衣服の場合は、そのあと中性洗剤で洗っておくのが良いでしょう。



Trivia 2

【残った塗料を保存するときは】

油性塗料は、使ったあとフタを強く締めても缶の中の空気と塗料が反応して、塗料の表面に皮が張ってしまいます。この場合は、その塗料に合ったうすめ液を上から少し注いで、フタを強く締めておけばOKです。また缶の直径に合わせて丸く切ったビニールを塗料の表面にのせて、フタを強く締めておくと、皮張りを防ぐことができます。



Trivia 3

【ハケが固まらないようにするには】

ハケやローラーをそのまま放置しておくと固くなってしまいます。今日塗って、明日また続きを塗る場合や、1回塗りが終わって2回塗りまで時間があるようなときは、ビニール袋に入れて、輪ゴムでとめておけば、空気にふれず、固まるのを防げます。また、うっかりしてハケが少し固まってしまったときは、しばらくラッカーうすめ液に浸しておくと柔らかくなります。



ペインティングジャーナル

PAINTING JOURNAL Vol.10

塗装その先の未来

塗装・塗料の基本知識



塗装で彩る新時代

公益社団法人 神奈川県塗装協会

塗料を選ぶ

塗料には塗る場所、塗る物に適した様々な種類があります。塗料の用途を確認して適切な塗料を選択しましょう。

塗料は、木部用や鉄部用、コンクリート用など、素材や用途に合わせて様々な種類があります。塗装する対象に合わせて塗料を選んで下さい。用途に合わない塗料を選んでしまうと、乾かない、剥がれてしまう、傷みが早いなどのトラブルの原因になってしまうこともあります。一度に多くの塗装対象がある場合は、色々な用途に塗れる「多用途塗料」をおすすめします。



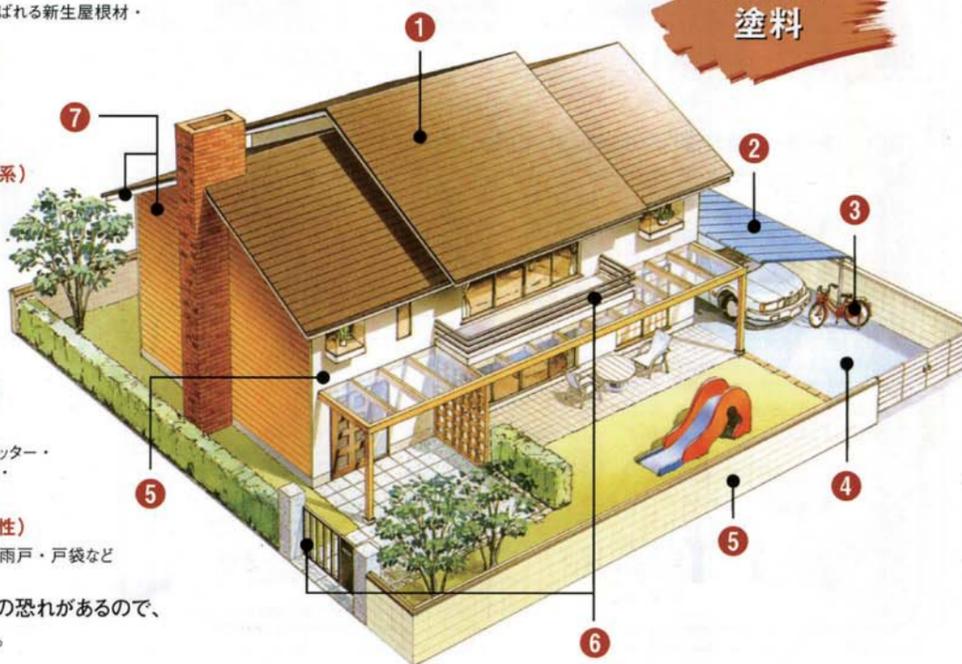
屋内用塗料

- ① 水性浴室・台所壁用塗料
 - ・浴室・キッチン・トイレなど
 - ・湿気の多い部屋の壁や天井
- ② 床用ニス・クリヤー
 - ・木製の床・廊下・階段など
- ③ 着色ニス/水性ニス・クリヤー
 - ・木製本棚・机・イス・飾り棚
 - ・木製ドア・建具・木工品
- ④ 木部・鉄部用エナメル/ラッカー
 - ・工作品・おもちゃ・家具
 - ・鋼製ドア
- ⑤ 水性室内壁用塗料
 - ・居間・子供部屋・廊下など
 - ・屋内の壁・天井

屋外用塗料

- ① 水性瓦用塗料*
 - ・コロニアル・カラーベストなどと呼ばれる新生屋根材・セメント瓦・スレート瓦
- ② トタン用塗料* (水性、油性)
 - ・トタン屋根・トタン塀・トタン製の下見板など
- ③ スプレー塗料 (水性、アクリル系、ラッカー系)
 - ・自転車・単車・自動車など
- ④ 水性コンクリート床用塗料
 - ・ガレージ床・ベランダ床・屋上フロア・テラス
- ⑤ 水性屋外壁用塗料*
 - ・モルタル壁・サイディングボード・コンクリート塀・ブロック塀
- ⑥ さび止め塗料/鉄部用塗料 (水性、油性)
 - ・ベランダの鉄部・物干し台・シャッター・門扉・プランコ・シャッター手すり・戸袋・格子・物置など
- ⑦ 屋外木部用塗料* (水性、油性)
 - ・外板・羽目板・下見板・木製の雨戸・戸袋など

*屋根や高所作業は、落下等の恐れがあるので、専門業者にお任せしましょう。



塗装道具を選ぶ・使いこなす

塗装は下処理、養生、塗装の工程で行います。それぞれの工程に適した道具を選び上手に使いこなす、ペイントを楽しみましょう。

Painting Tools

下処理

サビ、油分、ヤニなどがついたり、塗膜がはがれているなど、下地を調整するための道具。

■ ブラシ (ナイロン・真鍮・ワイヤー)

古い塗膜を落としたり、ひどいサビを落として、鉄部の表面をみがくのに使います。



■ ヘラ・皮スキ・スクレーパー

はがれかけたり、浮き上がった古い塗装やひどいサビなどを振り起こすようにし、取り除くのに使います。



■ サンドペーパー

塗る面をなめらかにするために用いるもので、金属表面のサビ落としや、木部の素地調整などに使います。平らな面には当て木(ゴム)を使うと便利です。



養生

塗らたくない部分、塗料がついては困る部分を覆う道具。

■ マスキングテープ

きわ、細部の養生。



■ マスカー (マスキングテープ付ビニールシート)

広い面の養生。



■ その他

- ・ポリシート
- ・ポリ手袋

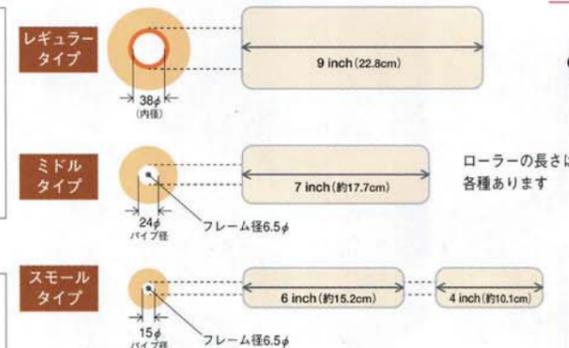
塗装

塗装するための道具。様々な形状、毛質の道具があります。目的により選びましょう。



ローラー

ローラーは塗装面積や形状によって選択下さい。



■ ローラー皿、ローラーバケツ



- 【毛丈】
- ・短毛 (9mm以下) 平滑面できれいに薄く仕上げる。
 - ・中毛 (13mm前後) 平面からやや凹凸がある面に。壁紙の塗替えはこれで。
 - ・長毛 (20mm以上) 凹凸が大きく塗料を多く必要とする時に。